

陳皮について



陳皮(ちんぴ)は温州みかん等の皮を乾燥させたもので、古来より食品として使用されてきました。例えば、七味唐辛子、カレーのスパイスにも使用されており、普段から私たちの身近な食品素材として利用されています。

陳皮に含まれるノビレチンとは

ノビレチンは、東北大学の山國徹教授らによって、脳のアミロイドβをおさえ、認知症の記憶障害を改善する可能性のある物質として見出されました。通常の陳皮はノビレチンが少量しか含まれませんが、**N陳皮**には豊富に含まれています。

記憶障害の改善作用

N陳皮は、記憶に関わる海馬の神経細胞において、**ノビレチン** **単独より強力**に記憶力を活性化します。その秘密は、N陳皮にはノビレチンだけではなくシネンセチン、タンゲレチンなどの**活性成分**が含まれており、ノビレチンと協力して強い作用を発揮することにあります。

脳の老化に対する予防作用

N陳皮は、神経の生存・維持に必要なミトコンドリアのエネルギー産生を助け、脳の老化による神経機能の低下を回復させます。

試験の方法

研究に参加された方には、N陳皮エキス、通常の陳皮エキスの**いずれかを24週間**、服用していただきます。どちらを服用していただくかは無作為に決まり、N陳皮エキスを希望して服用することはできません。参加された方には、**服用開始前、服用から12週目、24週目、36週目、48週目**にももの忘れ感のアンケート、神経心理検査、画像検査、医師診察を受けていただきます。

軽度認知障害(MCI)とは

もの忘れを自覚しており、軽度の認知機能の低下を認めますが、**認知症の診断まではつかない方は、軽度認知障害(MCI)**と呼ばれます。

厚生労働省の推計(平成24年)では、**65歳以上の高齢者で約400万人(13%)がMCIとされ**、これからも増加が予測されています。MCIは年間約16%が認知症に移行するとされますが、有効な治療や予防方法はまだ見つかっていません。

N陳皮(ノビレチン高含有陳皮)は健常高齢者の「もの忘れ感」に対して、良い影響が期待されています。